HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

（第 2660 地区）　WEEKLY BULLETIN　No.22

東大阪中央ロータリークラブ

創　　立　昭和４７年２月２０日
例 会 日　毎週月曜日　１２：３０～
例会場所　シェラトン都ホテル大阪３Ｆ
事 務 局　東大阪市小阪本町１丁目５－14
〒577-0802　小阪本町ロイヤルハイツ 405 号
TEL：０６－６７５３－８８２３
FAX：０６－６７５３－８８２６
E-mail：jahcrc@gmail.com

会　　長　芝 池 福 子
会長エレクト　帆 足 嘉 寿 大
副 会 長　金 子 勝 信
幹　　事　小 川 高 弘

“ ロータリーのマジック ”

2024～2025 年度　国際ロータリー会長 ステファニー・アーチック

第 2280 回例会　令和 7 年 4 月 7 日（月曜日）第 22 号

本日の例会	４月　７日（月）　第１例会 ◎ソング「それでこそロータリー」
本日のゲスト	米山奨学生 閏 燿宗（エンヨウソウ）君
本日の献立	松花堂弁当
本日の卓話	浅野　光男 ２０２５大阪・関西万博 「大阪ヘルスケアパビリオン リボーンチャレンジ事業」
卓話スピーカー	大阪信用金庫 だいしん総合研究所 執行役員　吉田貴裕様 特命部長　古川智也様 課長代理　楠　伸一様
次回の例会	４月１４日(月)　第２例会
次回の献立	中国料理
次回の卓話	献血卓話
卓話スピーカー	大阪府赤十字血液センター 事業推進一部　献血推進課 川口 広志様 献血推進一部　献血推進課 清水 萌香様
前回の例会	３月２４日(月)　第３例会
前回のゲスト	米山奨学生　趙　浩辰君

幹事報告　幹 事　小川　高弘

① 来週 31 日は休会となります。
次回の例会は４月７日（月）です。
例会終了後、シェラトン都ホテル５階「コスモス」にて新旧理事役員会を開催いたします。
新旧理事役員の皆様にはご出席賜りますようよろしくお願い致します。

② 次年度理事役員及び委員会名簿をポストに配布しております。４月５日（土）には、大阪国際会議場にて、地区研修・協議会が開催されます。
次年度会長・幹事、及び該当の委員長様には、ご出席賜りますようよろしくお願い致します。

会長挨拶代読　副会長　金子　勝信

皆様こんにちは。本日は私が体調悪く代読してもらいます、ご了承ください。
米山奨学生の趙浩辰君、この４月から北里大学、医療研究科修士課程でぜひ頑張ってください。
さて、愛媛や岡山市で山林火災がおきています。
自衛隊や消防が消化活動されていますが未だ消されていないようです。早く消化される事を祈ります。
さて、今日からマイナ免許証がはじまりました。
マイナンバーカードが始まりましたが、早速情報システムの不具合があったようです。こういうのがあると個人情報がのっているものなので、私たちはなかなかやろうという気持ちがなくなります。海外では日本より進んでおり、慣れている国の人は便利だと思われますが、日本の中に居てるだけではなかなかそうは思えません。海外に行くと本当に AI が進んでいるのは実感します。この前、久しぶりにオリジン弁当を買おうと思い店に入りました。２年くらい買ってなかったので私は知らなかったのですが、全て注文とレジを自分がしないといけなくて、一瞬、注文の仕方がわかりませんでした。メニューも映らなかったので、周りを見渡すとバーコードがついたカードがあって、注文したいカードを取り、スキャ

ンして注文してお金をはらうんです。わかれば簡単ですが、老人になるとついていけないのではと思いました。買いたくてもやめようと思うのではないかと？また、お弁当をもらう時にも作業化されてて、コミュニケーションがあまりもてません。なんとなく寂しさを感じました。やはりAIが進んでも人としてコミュニケーションは大事だと私は思いました。特に一人暮らしをしている方は話す機会が少なくて人との会話は大切だと思うのでAIが進むのも便利だけど、良し悪しがあるなと感じました。
さて、4月になると万博も始まりますがチケット予約もこれに近いことがいえると思います。今日は以上になります。

出席報告　　阪上　武仁

本日の会員数	１６名
本日の出席者数	１２名
出席免除会員数	３名
本日の出席率	９３．７５％
3/3の修整出席率	９３．７５％

ニコニコ箱報告　　SAA　名村　美紀

金子勝信	趙浩辰くん、当クラブに溶け込んで頂きありがとうございました。新天地に行っても頑張ってください。応援しております。
名村美紀	趙浩辰君、米山奨学生、卒業おめでとうございます。これからも頑張って下さい。応援しています。
帆足嘉寿大	趙浩辰くん、１年間お疲れ様でした。
松田敬之	いつも欠席ばかりで申し訳ありません。
脇村利恵子	趙君、卓話ありがとう。一年間、熱心に活動ご苦労様でした。北里大学でも頑張って下さい。
阪上　武仁	趙浩辰さんご卒業おめでとうございます。更なるご活躍を祈念いたします。

「米山奨学生卒業スピーチ」　　趙　浩辰

私と内モンゴル

本日は、私の故郷である内モンゴルについてお話ししたいと思います。日本に来て一年以上が経ち、皆さんと交流する中で、日本の文化を学ぶ機会が増えました。その一方で、自分の生まれ育った場所について改めて考えることも多くなりました。そこで本日は、少しでも内モンゴルの魅力をお伝えできればと思います。

内モンゴルは中国の北部に位置し、モンゴル国とロシアに接しています。東西の距離は約2,400キロメートル、面積は日本の約3倍にも及ぶ広大な土地を持っています。そこには果てしなく広がる草原や、雄大な砂漠、美しい湖が点在し、壮大な自然が魅力の地域です。

私の故郷を語るうえで、まず紹介したいのが内モンゴルの主要な都市です。私はフフホト市の大学で医療を学びましたが、この街は内モンゴルの中心都市であり、モンゴル語で「青い都市」という意味を持っています。都市としての活気に溢れながらも、少し足を延ばせば美しい草原が広がり、自然と共存する魅力的な街です。また、私が生まれたオルドス市も、歴史と経済の両面で重要な都市です。ここには、チンギス・ハーンの墓があるとされており、モンゴル民族にとって特別な意味を持つ場所です。さらに、オルドス市は豊富な石炭資源を背景に経済が急成長し、一時はGDPが中国トップクラスとなったこともあります。

内モンゴルの歴史を語るうえで、チンギス・ハーンの存在は欠かせません。彼はモンゴル帝国を築いた偉大な指導者であり、その孫であるクビライが1271年に元朝を建国し、中国全土を統治しました。この時代にはシルクロードを通じた文化交流が活発になり、中国とヨーロッパ、イスラム世界とのつながりがより深まったとされています。近代に入ると、1947年に中国初の民族自治区として内モンゴル自治区が成立しました。それ以来、都市の発展が進み、フフホトやオルドスでは高層ビルが立ち並び、かつての草原の風景とは異なる現代的な都市の姿を見せています。昔は遊牧民がゲルという伝統的な住居で暮らしていましたが、現在では多くの人がマンションなどの近代的な住まいで生活しています。

広大な土地を持つ内モンゴルは、壮大な自然の美しさも大きな魅力の一つです。特に有名なのがフルンベイル草原で、世界四大草原の一つにも数えられています。夏になると、一面に広がる緑の絨毯の上で、放牧された牛や羊がのんびりと草を食む、まるで絵画のような風景が広がります。また、トングリ砂漠をはじめとする広大な砂漠地帯も点在し、砂丘が風に流される壮麗な景観を生み出しています。

次に、内モンゴルの食文化についてもご紹介したいと思います。内モンゴルの料理は、牛肉や羊肉を中心とし、焼いたり煮たりするシンプルな調理法が一般的です。広大な草原で育った牛や羊の肉はとてもジューシーで、ほんのりとミルクの香りがするのが特徴です。内モンゴルの人々が日常的に飲むのがミルクティーです。これは牛乳とお茶に塩を加えたもので、寒い冬に体を温めるためによく飲まれます。日本の紅茶とは異なり、甘みがなく、むしろ塩気があるのが特徴で、遊牧民の暮らしに欠かせない飲み物です。また、内モンゴルの伝統文化の中でも特に興味深いのが「ホーミー」と「シャガイ」です。ホーミーは喉を使って複数の音を同時に発声する独特な歌唱法で、世界でも習得者が少ない貴重な技術です。一方、シャガイはヤギの骨を使った遊びで、昔は遊牧民の間で広く親しまれていました。

こうしてお話ししていると、改めて自分の故郷が持つ豊かな文化や歴史に誇りを感じます。果てしなく広がる草原、悠久の歴史、独自の文化、そして発展し続ける都市の姿――内モンゴルは本当に魅力あふれる場所です。今日の話を通じて、少しでも皆さんにその魅力が伝わったなら、とても嬉しく思います。　ご清聴、ありがとうございました。